

2024年6月25日

株式会社ロイヤリティ マーケティング

**パリ 2024 オリンピック・パラリンピックへの興味・観戦意向に関する調査
若年層のオリンピック観戦意向は約5割、
観戦理由は周囲とのコミュニケーション目的が他の年代より高い
～ パラリンピックへの「興味がある」は、1位10代、2位20代～**

共通ポイントサービス「Ponta(ポンタ)」を運営する株式会社ロイヤリティ マーケティング(本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：長谷川 剛、以下「LM」)は、2024年夏にパリで開催されるオリンピック・パラリンピックについて、興味や観戦意向を調査した結果をご報告いたします(実施期間：2024年5月10日～5月17日)。本調査は「Pontaリサーチ」を利用して、10代から70代以上の20,555名に聴取しました。

【主な調査結果】**▶ パリオリンピック・パラリンピックへの興味、観戦意向**

- ・パリオリンピックへの「興味あり」は約6割、パラリンピックは約4割。60代以上で興味が高い
- ・パリオリンピックの「観戦意向」は6割となり、全年代で5割を超える。パラリンピックの観戦意向は約4割

▶ パリオリンピック・パラリンピックを観戦したい理由

- ・観戦したい理由1位は「日本代表を応援したいため」で、60代以上が突出して高い。若年層では「世間の話題についていくため」「家族や友人などとのコミュニケーションを図るため」が他の年代よりも高い

▶ パリオリンピック・パラリンピックの注目競技と注目理由

- ・最注目競技は、オリンピックでは1位「サッカー」、2位「短・中・長距離走、ハードル走」、3位「マラソン」。パラリンピックでは1位「車いすテニス」、2位「マラソン」、3位「水泳」
- ・最も注目している理由は、サッカーは「普段からそのスポーツ観戦をしているため」、ブレイキン「新種目であるため」が高い

▶ オリンピック・パラリンピック観戦用に買いたい・利用したい物やサービス

- ・オリパラ観戦で買いたい、利用したい物やサービスは「テレビ」が最多の35.3%

<PERSONA+による価値観分析>

▶ オリンピックへの興味・観戦意向×価値観

- ・外向的な層やコミュニティを重視する層において、オリンピックへの興味や観戦意向が高い傾向が伺える

【調査結果詳細】

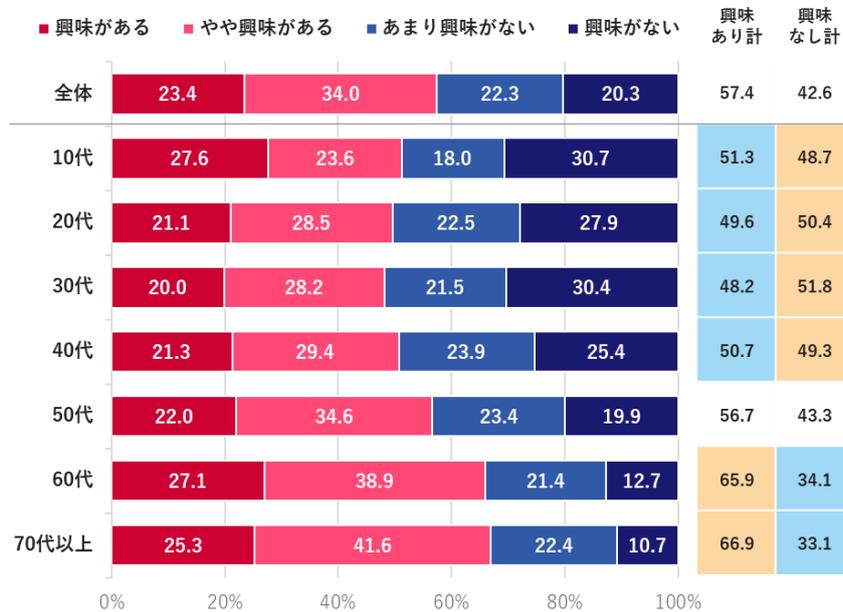
■パリオリンピック・パラリンピックへの興味

パリオリンピックへの「興味あり」は約6割、パラリンピックは約4割。60代以上で興味が高い

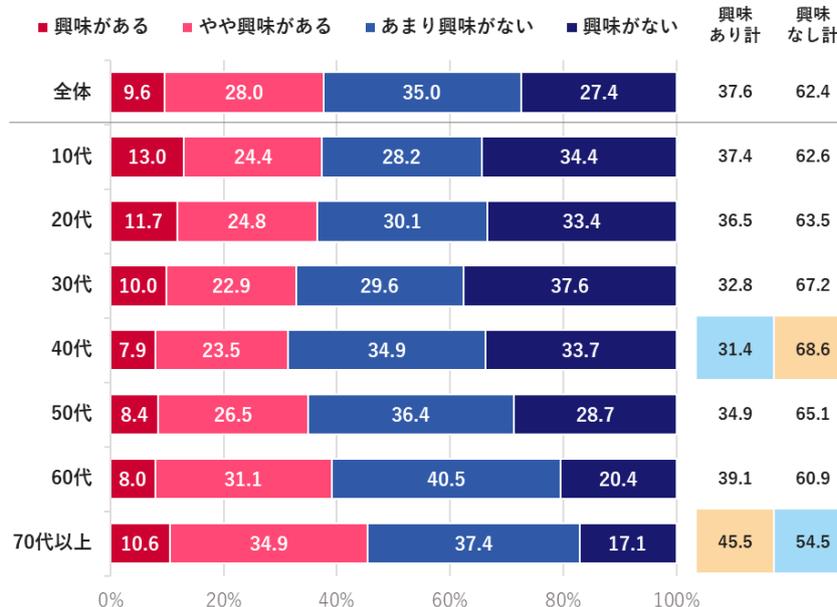
パリオリンピックに対する興味を聴取したところ、全体で「興味がある」は23.4%、「やや興味がある」は34.0%となり、合わせると57.4%が興味ありと回答した。年代別で見ると高い年代において興味あり派が多く、60代で65.9%、70代以上で66.9%と高かった。

また、パリパラリンピックへの興味は、全体で「興味がある」が9.6%、「やや興味がある」が28.0%となり、合わせて37.6%だった。年代別で見ると、オリンピックと同様に、高い年代において興味あり派が多かったものの、「興味がある」に着目すると、10代が13.0%で最も高く、次いで20代が11.7%だった。

▼パリオリンピックへの興味 | 年代別 (n=20,555)



▼パリパラリンピックへの興味 | 年代別 (n=20,555)



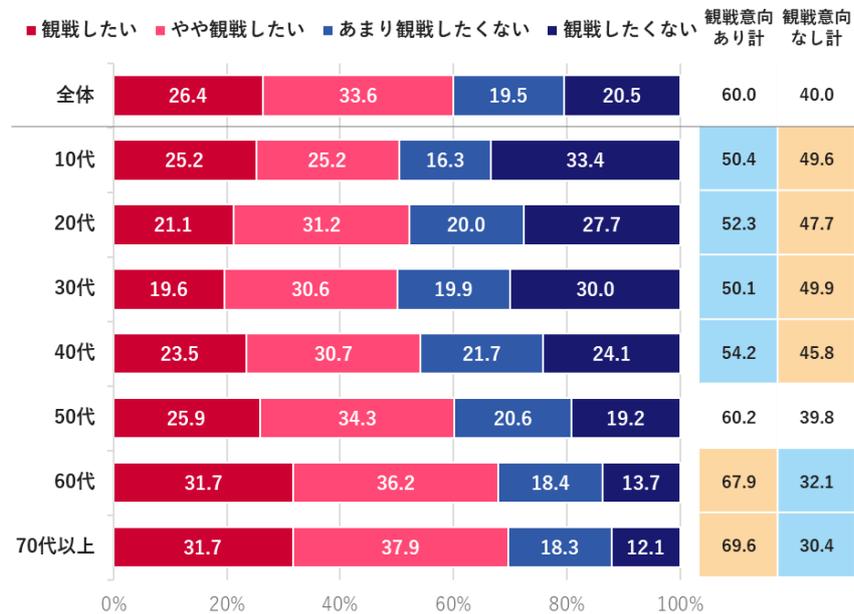
■パリオリンピック・パラリンピックの観戦意向

パリオリンピックの「観戦意向」は6割となり、全年代で5割を超える。パラリンピックの観戦意向は約4割

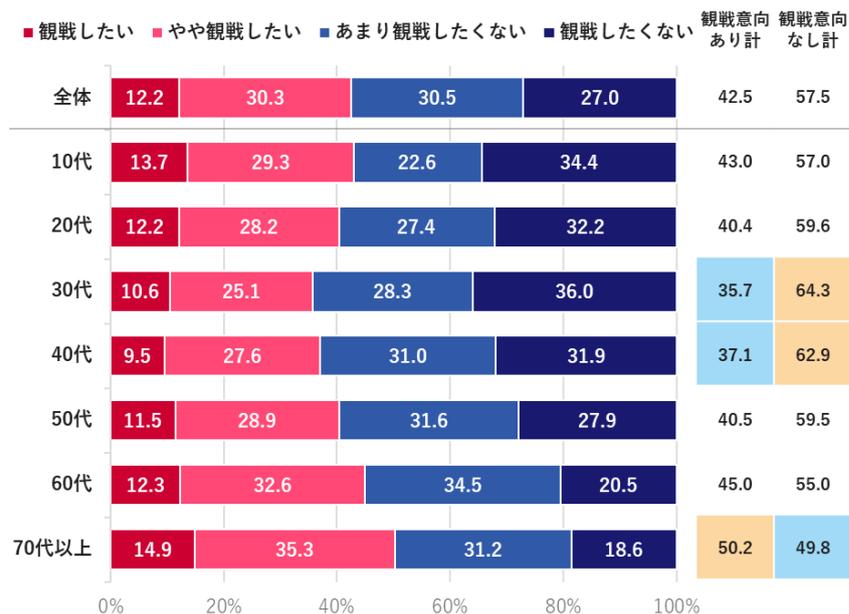
パリオリンピックの観戦意向を聴取したところ、全体で「観戦したい」が26.4%、「やや観戦したい」が33.6%となり、合わせると60.0%だった。年代別で見ると、観戦意向ありは全ての年代で5割を超えている。30代が50.1%で最も低く、70代以上が69.6%と最も高かった。

パリパラリンピックの観戦意向は、全体で「観戦したい」が12.2%、「やや観戦したい」が30.3%となり、合わせると42.5%だった。年代別で見ると、観戦意向ありは、70代以上が50.2%と最も高く、60代が45.0%、10代が43.0%で続いた。

▼パリオリンピックの観戦意向 | 年代別 (n=20,555)



▼パリパラリンピックの観戦意向 | 年代別 (n=20,555)



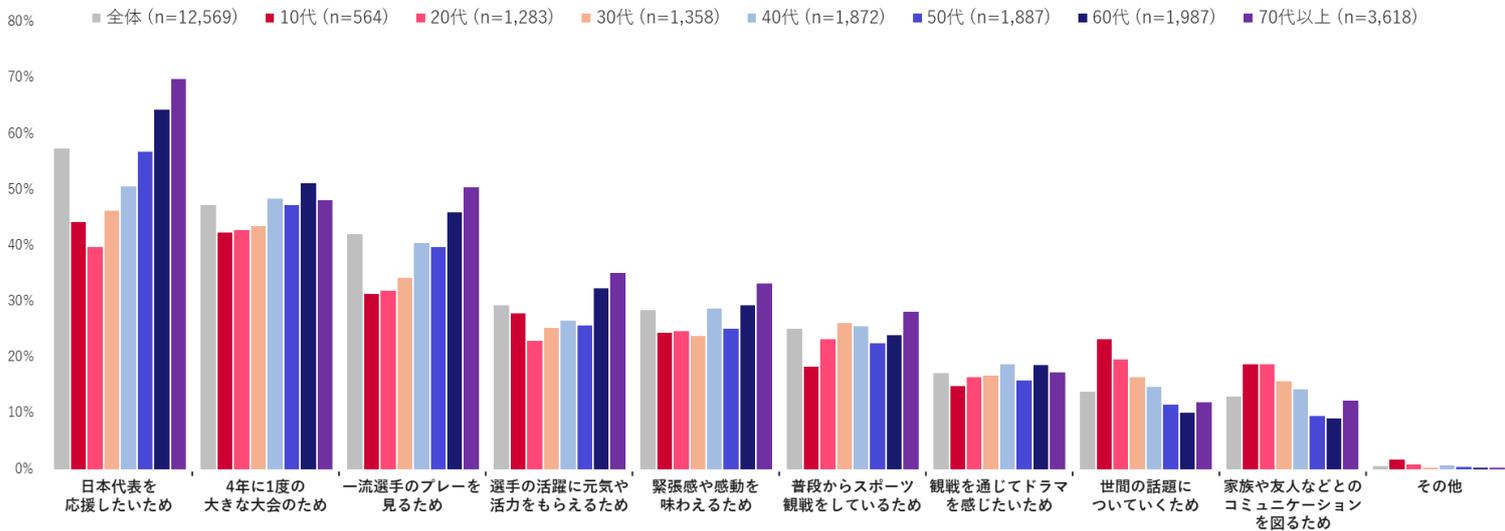
■パリオリンピック・パラリンピックを観戦したい理由

観戦したい理由1位は「日本代表を応援したいため」で、60代以上が突出して高い。若年層では「世間の話題についていくため」「家族や友人などとのコミュニケーションを図るため」が他の年代よりも高い

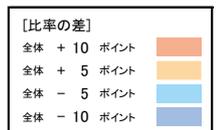
パリオリンピック・パラリンピックの観戦意向がある方に、観戦したいと思う理由を聴取した。全体で「日本代表を応援したいため」が57.6%と最も高かった。次いで「4年に1度の大きな大会のため」(47.4%)、「一流選手のプレーを見るため」(42.3%)となった。

年代別で見ると、「日本代表を応援したいため」が、70代以上で70.1%だったのに対して、20代では40.0%と、約30ポイントの差があった。また、「世間の話題についていくため」「家族や友人などとのコミュニケーションを図るため」は10~20代で高く、若年層がオリンピック・パラリンピックをコミュニケーションの話題の一つとして捉えている様子が伺える。

▼パリオリンピック・パラリンピックを観戦したい理由 | 年代別 (%)



	日本代表を応援したいため	4年に1度の大きな大会のため	一流選手のプレーを見るため	選手の活躍に元気や活力をもらえるため	緊張感や感動を味わえるため	普段からスポーツ観戦をしているため	観戦を通じてドラマを感じたいため	世間の話題についていくため	家族や友人などとのコミュニケーションを図るため	その他
全体	57.6	47.4	42.3	29.6	28.7	25.4	17.5	14.1	13.2	0.7
10代	44.5	42.6	31.6	28.1	24.6	18.6	15.0	23.5	18.9	1.9
20代	40.0	42.9	32.1	23.2	25.0	23.5	16.6	19.9	19.0	1.1
30代	46.5	43.8	34.4	25.5	24.1	26.3	16.9	16.7	16.0	0.6
40代	50.8	48.7	40.7	26.8	29.0	25.8	18.9	15.0	14.5	0.9
50代	57.1	47.5	39.9	26.0	25.4	22.7	16.1	11.8	9.7	0.7
60代	64.6	51.4	46.2	32.6	29.6	24.2	18.9	10.3	9.3	0.5
70代以上	70.1	48.3	50.6	35.4	33.5	28.4	17.5	12.2	12.6	0.6



■パリオリンピック・パラリンピックの注目競技

最注目競技は、オリンピックでは1位「サッカー」、2位「短・中・長距離走、ハードル走」、3位「マラソン」。パラリンピックでは1位「車いすテニス」、2位「マラソン」、3位「水泳」

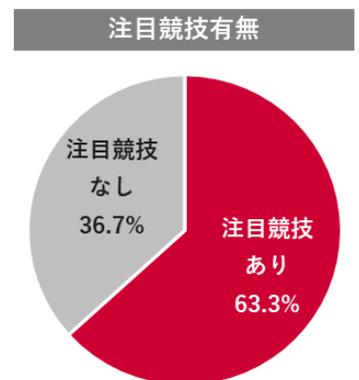
パリオリンピックで注目している競技を複数回答で聴取したところ、1位は陸上競技の「短・中・長距離走、ハードル走」30.5%、2位「サッカー」27.1%、3位「競泳」26.9%だった。注目競技のうち、最も注目している競技を単一回答で伺ったところ、1位「サッカー」10.0%、2位「短・中・長距離走、ハードル走」8.6%、3位「マラソン」5.7%となった。注目競技としては15位以下だった「スケートボード」が13位、「ブレイキン」が15位に入った。また、注目している競技がないという回答は36.7%だった。

またオリンピック注目競技に関して、どの程度注目しているかを聴取した。注目度合いとオリンピック観戦意向度で相関を見たところ、サッカーや短・中・長距離走、ハードル走、マラソン、バレーボール、卓球など、上位の競技はオリンピック観戦意向度と競技注目度ともに低かった。ホッケー、近代五種、競歩、セーリングなどはオリンピック観戦意向度と競技注目度ともに高かった。サッカーや卓球などと比べて、普段の試合中継が少ない競技において、オリンピック観戦意向度および注目度が高い傾向が伺える。

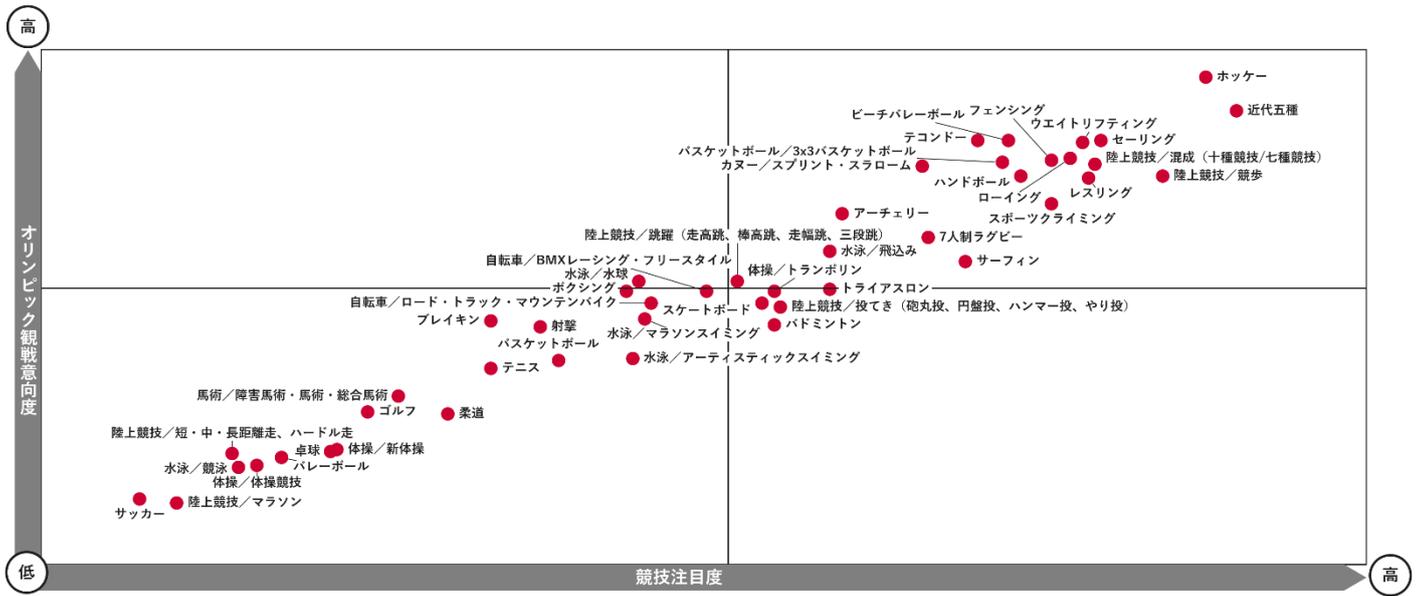
パリパラリンピックで注目している競技を複数回答で聴取したところ、1位は「車いすテニス」16.5%、2位「マラソン」13.3%、3位「水泳」13.2%だった。最も注目している競技についても、順位は変わらなかった。また、注目している競技がないという回答は55.0%だった。

▼パリオリンピックの注目競技 (%) ※上位15位を抜粋 (いずれの競技も注目していないを除く) (n=20,555)

最注目競技 ランキング	注目競技 ランキング (複数回答)	競技名	最注目競技 (数値)	注目競技 (数値)
1	2	サッカー	10.0	27.1
2	1	短・中・長距離走、ハードル走	8.6	30.5
3	4	マラソン	5.7	25.6
4	6	バレーボール	5.5	22.8
5	7	卓球	3.9	21.3
6	8	柔道	3.9	19.8
7	3	競泳	3.6	26.9
8	5	体操競技	3.1	23.6
9	9	バスケットボール	3.0	17.5
10	14	ゴルフ	2.5	9.7
11	10	投てき(砲丸投、円盤投、ハンマー投、やり投)	1.5	13.0
12	13	テニス	1.3	11.3
13	17	スケートボード	1.2	7.6
14	12	跳躍(走高跳、棒高跳、走幅跳、三段跳)	1.1	11.4
15	23	ブレイキン	1.0	5.2

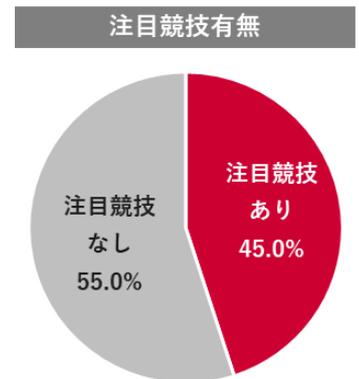


▼競技注目度とオリンピック観戦意向度の相関



▼パラリンピックの注目競技 (%) ※上位 10 位を抜粋 (いずれの競技も注目していないを除く) (n=20,555)

最注目競技 ランキング	注目競技 ランキング(複 数回答)	競技名	最注目競技 (数値)	注目競技 (数値)
1	1	車いすテニス	11.3	16.5
2	2	陸上競技 (マラソン)	6.2	13.3
3	3	水泳	4.5	13.2
4	4	車いすバスケットボール	4.4	10.8
5	5	柔道	3.2	8.8
6	6	卓球	3.2	8.4
7	8	アーチェリー	2.4	6.5
8	9	ポッチャ	2.2	6.4
9	7	バドミントン	2.0	7.4
10	10	車いすラグビー	1.1	4.7



■最も注目している競技を選んだ理由

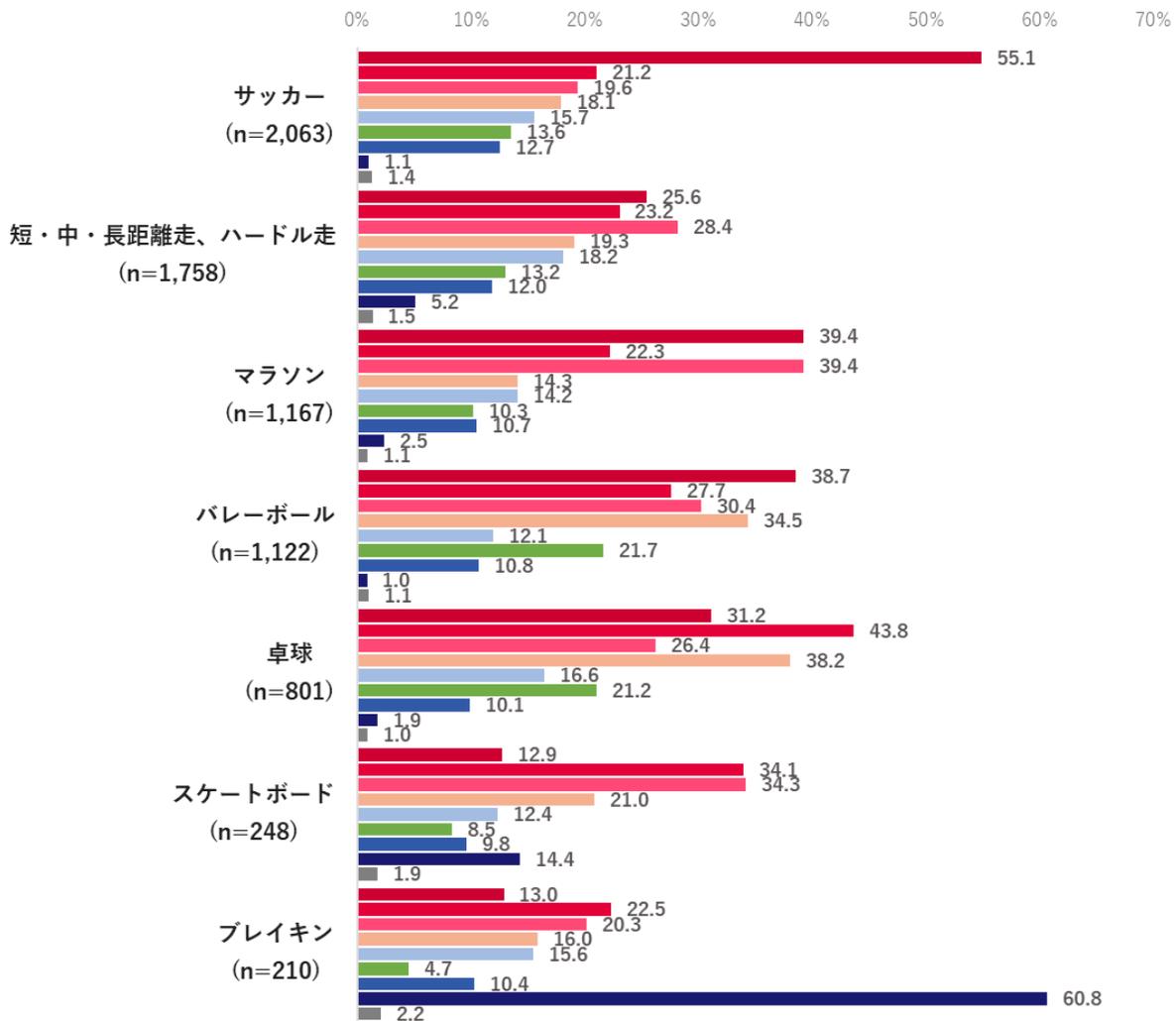
最も注目している理由は、サッカーは「普段からそのスポーツ観戦をしているため」、
ブレイキンは「新種目であるため」が高い

パリオリンピックにおいて、最も注目している競技を選んだ理由を聴取した。最注目競技の上位5位と、注目している競技（複数回答）では上位に入らなかったものの、最注目競技（単一回答）で15位以内に入ったスケートボード、ブレイキンについて、聴取結果を集計した。

1位のサッカーは「普段からそのスポーツ観戦をしているため」が約5割、2位の短・中・長距離走、ハードル走は「選手が競技をしている姿に感動するため」が約3割、3位のマラソンは「普段からそのスポーツ観戦をしているため」「選手が競技をしている姿に感動するため」が約4割ずつで高かった。また、スケートボードは「メダル獲得の可能性があるため」「選手が競技をしている姿に感動するため」が約3割ずつ、ブレイキンは「新種目であるため」が約6割で高かった。

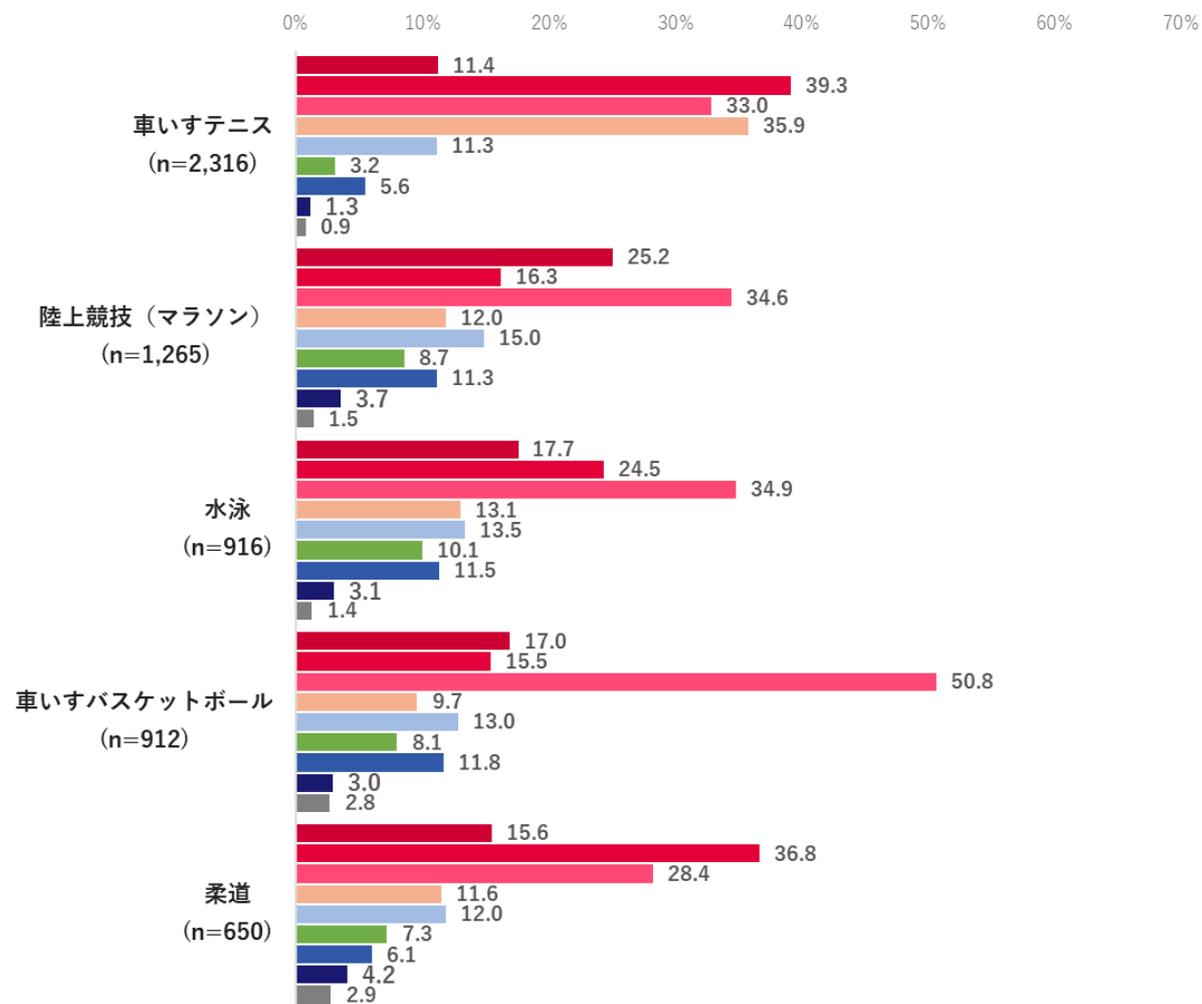
またパラリンピックの最も注目している競技を選んだ理由も聴取した。上位5位の競技を見ると、車いすバスケットボールで、「選手が競技している姿に感動するため」が突出して高く50.8%だった。車いすテニス、柔道では「メダル獲得の可能性があるため」が約4割だった。

▼パリオリンピックで最も注目している競技を選んだ理由 ※最注目競技の上位5位とスケートボード・ブレイキンを抜粋



- 普段からそのスポーツ観戦をしているため
- 選手が競技をしている姿に感動するため
- 一流選手のプレーを参考にするため
- 家族や友人等周囲の人が注目しているため
- その他
- メダル獲得の可能性があるため
- 注目している選手がいるため
- そのスポーツをしている・していたため
- 新種目であるため

▼パリパラリンピックで最も注目している競技を選んだ理由 ※最注目競技の上位5位を抜粋



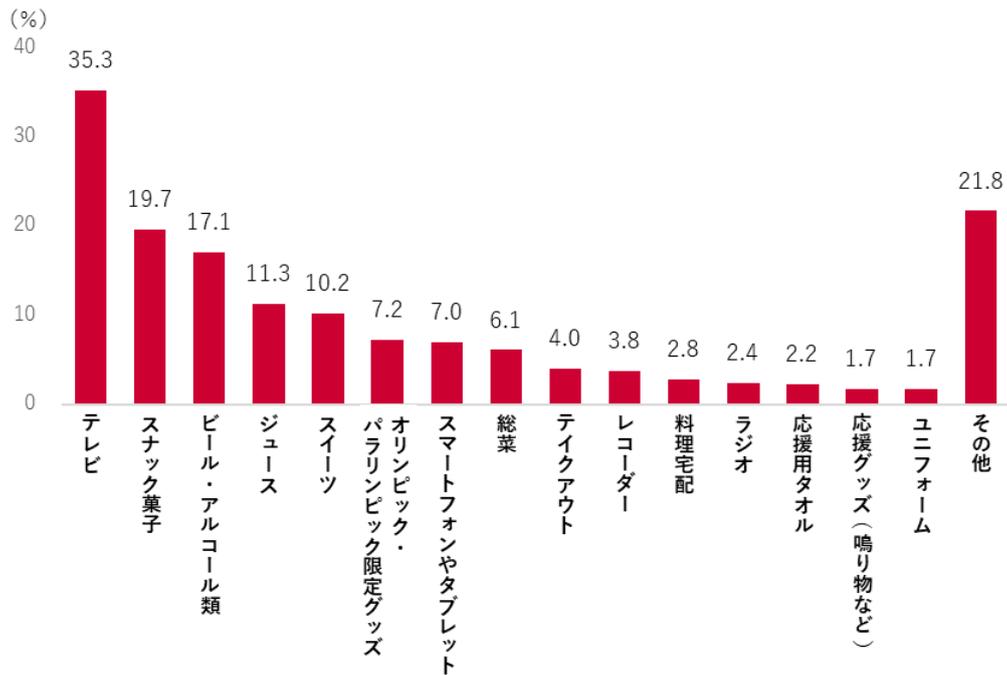
- 普段からそのスポーツ観戦をしているため
- 選手が競技をしている姿に感動するため
- 一流選手のプレーを参考にするため
- 家族や友人等周囲の人が注目しているため
- その他
- メダル獲得の可能性があるため
- 注目している選手がいるため
- そのスポーツをしている・していたため
- 新種目であるため

■オリンピック・パラリンピック観戦用に買いたい・利用したい物やサービス

オリパラ観戦で買いたい、利用したい物やサービスは「テレビ」が最多の35.3%

オリンピック・パラリンピックの観戦用に買いたい・利用したい物やサービスを聴取したところ、「テレビ」が35.3%で1位だった。2位の「スナック菓子」(19.7%)と比較して、15.6ポイント高かった。

▼オリンピック・パラリンピック観戦用に買いたい・利用したい物・サービス (n=20,555)



PERSONA+による価値観分析

■オリンピックへの興味・観戦意向

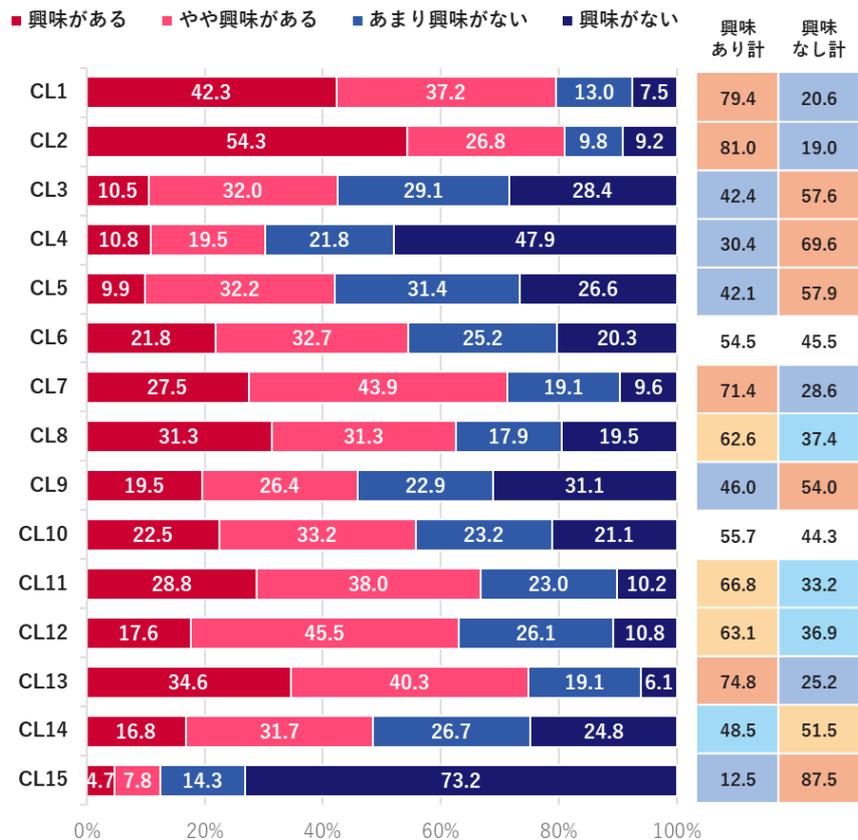
外向的な層やコミュニティを重視する層において、オリンピックへの興味や観戦意向が高い傾向が伺える

LMが提供する価値観マーケティング支援サービス「PERSONA+」を用いて、価値観別にオリンピックへの興味を分析した。外向的な層において約80%と強い興味が伺え、CL（クラスター）2「情報感度が高いトレンドリーダータイプ」では81.0%、CL1「こだわり重視のリーダータイプ」では79.4%となった。また協調性やコミュニティを重視するCL7「規律重視のバランスタイプ」、CL13「コミュニティ重視の安定志向タイプ」も70%台と高かった。

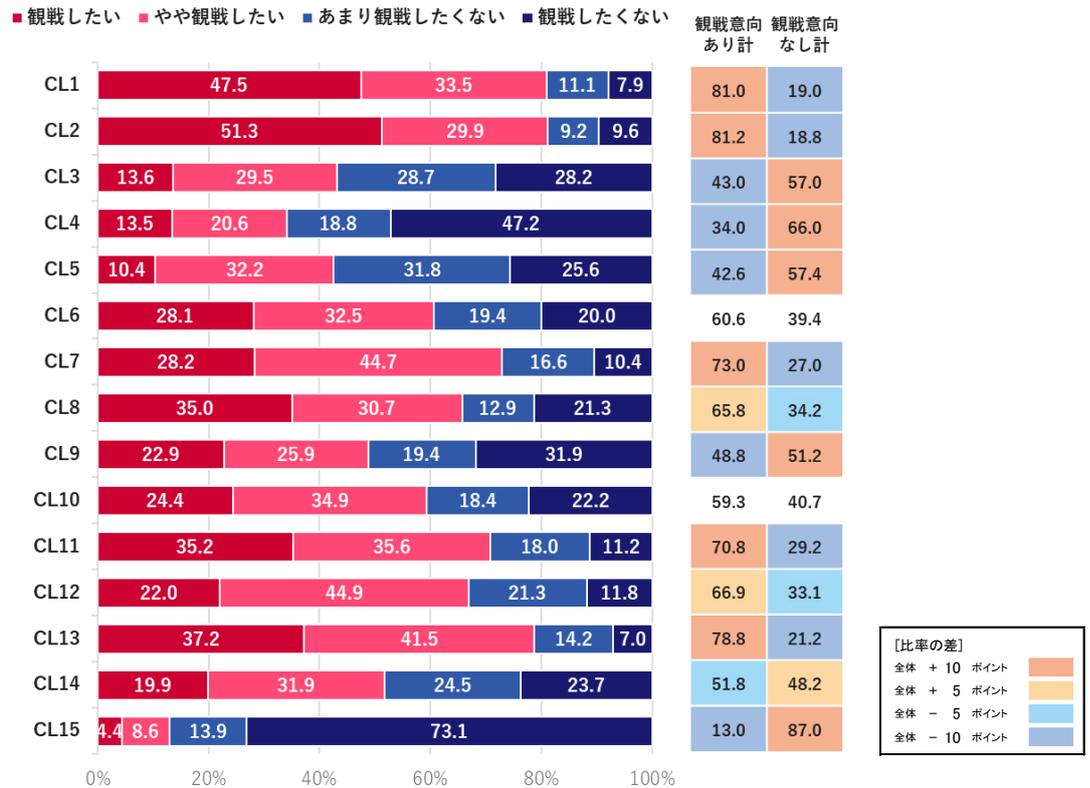
次にオリンピックの観戦意向を分析したところ、外向的な層において高い観戦意向が伺え、CL2では81.2%、CL1では81.0%と高い結果となった。また、コミュニティを重視するCL7では73.0%、CL13では78.8%とこちらも高かった。

オリンピックへの興味や観戦意向について、年代での違いの他、価値観の違いにおいても傾向の差が伺える結果となった。

▼オリンピックへの興味 | 価値観別 (n=20,555)



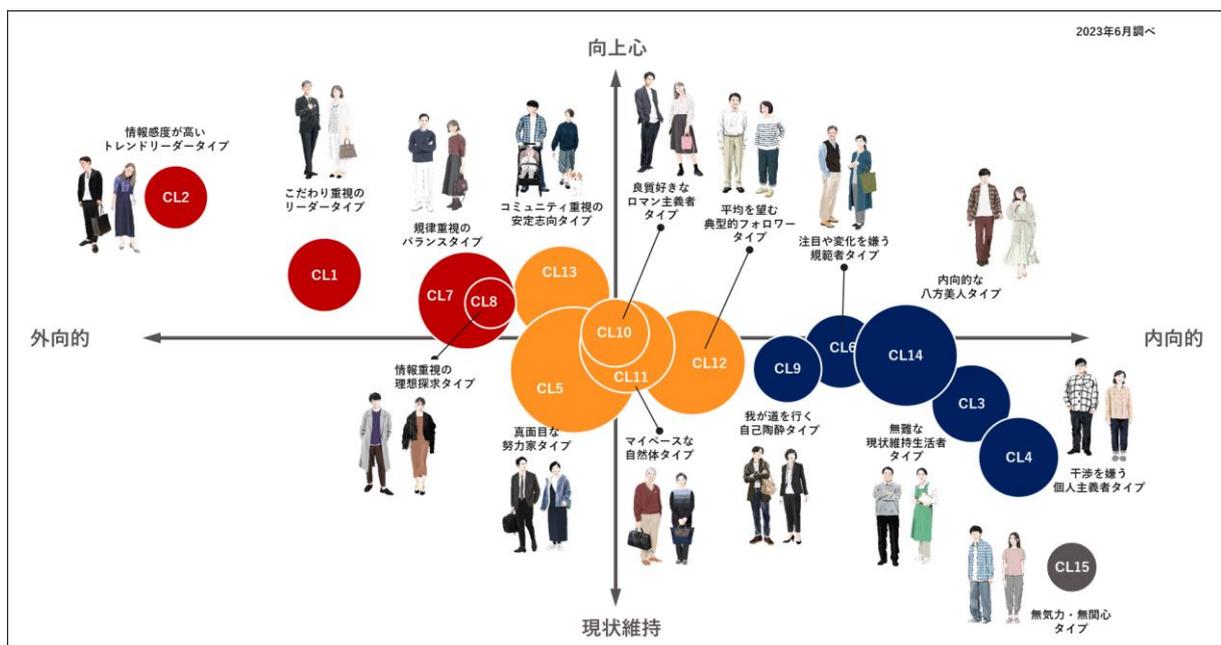
▼オリンピックの観戦意向 | 価値観別 (n=20,555)



※ご参考：価値観マーケティング支援サービス「PERSONA+」について

「PERSONA+」では独自の価値観判別ロジックで、性格や仕事観・消費・食などあらゆる価値観に関するデータを基に生活者の価値観を15クラスターに分類してペルソナを作成し、プロファイリングが可能です。

▼価値観クラスターのポジショニングマップ



【調査概要】

調査方法 : インターネット調査
調査期間 : 2024年5月10日～5月17日
パネル : 「Ponta リサーチ」会員
(Ponta 会員で「Ponta リサーチ」の会員登録をいただいている方)
調査対象 : 国内在住 10代～70代以上の方
有効回答数 : 20,555名

※調査結果は小数点第2位を四捨五入しています。合計しても100%にならない場合があります
※「令和2年国勢調査」(総務省統計局)の性年代別人口構成比を基にウエイトバック集計を実施

▼ウエイトバック後のn数

年代	N	価値観クラスター	N
10代	1056	CL1 こだわり重視のリーダータイプ	2049
20代	2350	CL2 情報感度が高いトレンドリーダータイプ	905
30代	2629	CL3 無難な現状維持生活者タイプ	900
40代	3394	CL4 干渉を嫌う個人主義者タイプ	1103
50代	3085	CL5 真面目な努力家タイプ	2677
60代	2900	CL6 注目や変化を嫌う規範者タイプ	994
70代以上	5141	CL7 規律重視のバランスタイプ	1547
		CL8 情報重視の理想探求タイプ	523
		CL9 我が道を行く自己陶醉タイプ	899
		CL10 良質好きなロマン主義者タイプ	733
		CL11 マイペースな自然体タイプ	2303
		CL12 平均を望む典型的フォロワータイプ	2193
		CL13 コミュニティ重視の安定志向タイプ	1426
		CL14 内向的な八方美人タイプ	1435
		CL15 無気力・無関心タイプ	868

【引用・転載の際のクレジット表記のお願い】

調査結果引用・転載の際は、「Ponta リサーチ」調べ」とクレジットを記載していただきますようお願い申し上げます。

以上